

		チェック項目	はい	どちらでも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	1		・勉強机、遊びのスペースがあり、適切な使い方ができている ・放デイ、学童の二つの部屋を目的等に応じて活用している。活動内容によっては館内の別の場所を活用している
	②	職員配置数は適切であるか	8	1		・担当児につく大人、全体を見るフリーの大人が配置されている
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	1		・広い階段手すり、エレベーターがある ・1Fから3Fまでつながるエレベーターがあり、妊娠中の方や体の不自由な方などに利用をすすめている ・エレベーターの使用もできる ・多目的トイレが備わっている ・手すりあり、エレベーターあり。高齢者も障害者も生活できている
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	1		・(行事やイベント毎に)振り返りシートあり ・月に一回のミーティングにて必要な情報を共有し、全体で検討する機会がある ・常に職員の意見を話し合いながら業務を実行できる環境にある。パート職員も含め振り返りまで参画している
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	1		・アンケートを参考にしている ・年に一回保護者向けアンケートを実施し、その結果を職員間で共有。ホームページにも掲載している ・事業所の評価の内容をまとめ職員間で共有している ・毎年行っている。クリスマス会や卒会式ではイベント後にアンケートをとり、次の会に繋げるようにしている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	1		・保護者評価と合わせて公開している。 ・HPで公開し、保護者には紙を配布している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3	2	・第三者に参加してもらっている ・必要に応じて取り入れる? ・無記名1 ・費用が高額で実施する事ができない
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1		・研修の機会があれば参加できている ・コロナ以降研修は少なくなっているが、オンライン研修の機会はある ・役割期待と必要に応じて、研修の機会が設けられている ・他事業所への見学の研修の機会など館内外の研修があった
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			・子ども、保護者と面談を取り聞き取り、職員間でもストロングポイントを出し合い、計画を立てている ・日々の支援に加え学校・家庭の様子など多角的な情報収集に努めている ・ストレングスの観点で作成し、職員みんなで話し合いをして作成している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	2		・手順表(身支度)、スケジュールボードなど視覚的ツールを多く使用している ・ストロングポイントを書くことなどを通してアセスメントが習慣化されている ・日誌、日誌からのヒヤリハット。ミーティングを通して確認し合っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	1		・係を複数の職員が担当している ・常にチームで話し合い案を出しあっている ・一日の予定を常勤職員で話し合って決めている ・おでかけプログラムは常勤職員で話し合い計画している ・「衛生トーク」「安全トーク」などは係で話し合い実施している ・常勤を中心に行い、非常勤とも共有している

適切な支援の提供

⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも最上のものを検討している ・外遊び、地域の公園へ散歩、中遊び、風船バレーなどその日に応じてプログラムを変容している ・毎日同じ内容にならないよう心がけ多彩なプログラムを実施している ・様々な方法、場所、人を考えて実行している 	
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9		<ul style="list-style-type: none"> ・工程表を作ってチームで共有し、重要な点をおさえている ・日々のプログラムは事前に職員で話し合い、子どもの様子を予測しながら支援に臨んでいる 	
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・必要があれば、大人が一对一で個別の対応をとることもある。基本的に集団の中に入って行くことを優先している ・集団での活動を大切にしており学童保育と一体的に行っている ・個別支援をする意識を持ち計画に盛り込んでいる 	
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール表、一日メモで支援前に確認ができる ・職員間でその日の欠席など、子どもたちの様子だったり何か特記事項だったり聞きたい。今日一日の予定だけでは不十分。 ・その日の支援内容をスケジュール表の中で明記し、近日中の出来事や状況について共有できるようにしている ・重点の確認は、必ずしている。子どもの様子、大人の動き方、立ち位置など ・「一日メモ」を通してその日の活動の内容、職員の動きなどを確認し不足分は口頭で話し合っている ・一日メモ(書面)を通して行っている 	
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	6	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・日誌にて確認可能。何かあればその場で集まって話す場合もある ・勤務時間が統一でないのでできないが、支援中にできるのかなー ・その日の日誌をしるし、何でも共有するようにしている。報告事項についてはその日のうちに報告している ・特別その日に話したほうが良いことはその日のうちに振り返っている ・気づいたことは日誌に残していて、必ず打ち合わせはしていないがきちんと共有できている ・必ずではないが適宜行えている
⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9		<ul style="list-style-type: none"> ・記録を取ることは必ずしています。改善はどうですか？ ・支援終了前に事務時間が確保されている ・業務日誌の重要性をそれぞれが認識している ・「ヒヤリハット」に関しては統計をとり支援の深掘りに役立っている 	
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画に見直しの必要性を判断しているか	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回、前期と後期でモニタリングを行い、職員で共有している ・半年に1回モニタリングを行っている 	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・4つすべてが季節や日々の生活の中で組み込まれている ・基本活動のすべてを取り入れた活動を行っている 	
⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が参画している ・サービスの管理者(児発管)が参画している 	
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・何かあれば常勤が電話している ・学校だけでなく家庭とも共有し、三者で子どもを見守っていくトライアングルプロジェクトを推進している ・学校の先生と顔の見える関係づくりに努めており、何かあれば連絡を取り合っている。授業参観や面談にも積極的に参加している 	
㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	7	<ul style="list-style-type: none"> ・医療児の在籍はあるが、家庭に一任している ・現在は事例がない ・現在は対象児童がいらないが必要があれば整えていく 	

関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用前に園にうかがい、様子を見させていただくことや、情報を聞き入れている ・保育所等の施設に訪問し様子をうかがってから受け入れをしている。同じ館内の認定こども園とは密に連携をとり情報共有をしている
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービスから所外福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供する等しているか	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所間で子どもの様子を伝えあいつながっている ・卒会後に次の福祉サービスを利用する際には、家庭の了解を得て情報の共有に努めている(要請があれば事業所に出向き対応について話し合う事もある)
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の難しい事例などに対し、必要なことや改善点など、助言をいただく機会がある ・大学の教授からアドバイスを受けることもあった。困難な事例に関して相談ができる関係がある ・今年は数名、研修に行かせてもらった
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的にあり ・学童保育きりんグループと併設されており、一緒に生活を進めている ・日常的に交流があり、事業所の特色にもなっている ・日常にあり、それが当事業所の特色である
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参画しているか	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が参画している ・障害児通所事業所協議会に積極的に参加している
	㉕	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳、電話、面談 ・連絡帳、電話、口頭で日頃から伝えあっている ・お迎えに来られる方には口頭で、直接が難しい方には連絡帳、電話など活用して伝えることができている ・お迎えの際や連絡帳にて状況をお伝えしている。保護者と考えをつ和え合える関係づくりを進めている ・送り迎えの際やTEL、メール、連絡帳で日々やりとりしている
	㉖	保護者の対応能力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	6	2	1
保護者への説明責任	㉗	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用に関するすべての情報は、新年度に配布資料にて、保護者と読み合わせを行っている ・入会の際に詳しく説明を行っている
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に管理者が窓口となり、その悩みなどは職員間でも共有がされている ・困っている様子から判断し話をすることで家庭支援を行っている。必要に応じて面談を設ける ・日々のやりとりから、悩みなどをキャッチするように努めており、面談につなげることもある
	㉙	父母の会活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・夏のイベントやクリスマス会など、保護者会が参画している。その打ち合わせには、職員も参加している ・保護者会があり学童とともに運営してくれている。イベントの支援を行っている
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情受付責任者、苦情受付担当、第三者委員が設置されている ・苦情受付窓口や第三者委員会の存在を明示している

	③④	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育と合わせてきりん通信「アカシアの木」を発行している ・「アカシアの木」を発行し子ども達の様子を発信している。行事等があれば写真を掲示している
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ・回覧の注意がみられる ・個人情報の取り扱いには十分配慮している ・一度家庭の配布物が混ざってしまったことがあった。普段は取り扱いに十分気を付けカバーをしたりファイリングしている
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ・常に子どもに向き合いながら保護者と連絡を取り合い話し合う機会を持っている ・絵カードなどを用いて意思表示が苦手な子どもに対しての配慮がある ・スケジュールややることがわかりやすいようボードや手順表を用いている
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・イベントに際し子どもたちと話し合いながら地域の方を招待している ・クリスマス会や音楽会など、地域の方を招待している ・地域との交流が日常的にありクリスマス会等のイベントに招待している ・クリスマス会、ハロウィン。おやつ買いも月に一度している ・無記名1
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育、放課後デイの各部屋にマニュアルが置いてあり、壁には視覚的にわかりやすい子どもの動きが描かれた紙を貼っている ・緊急時のフローチャートを掲示し保護者にも周知している ・安全係や衛生係が場面ごとの流れをマニュアル化している
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか	9			<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行っていると思われる ・火災訓練、自信訓練ともに年に二回以上実施し、その日のうちにフィードバックをして次につなげている ・安全係が定期的に訓練を計画し様々な場面設定で実施することを心がけている・子どもも一緒に振り返りを行い、防災教育にも力を入れている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	9			<ul style="list-style-type: none"> ・研修に職員が参加している ・法人内の研修で虐待防止研修がある。ほかに、外部研修を受ける機会がある ・虐待防止研修が館内の研修として開かれた
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	3		<ul style="list-style-type: none"> ・現在必要な児童の在籍はないが、必要な際には家庭と共有し了解のもと、記載することがある ・突然走りだしてしまう子などには安全のため体を抑えることがあることを説明し計画に載せた
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	1	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・口にするものについて保護者と常に連絡を取り合っている。 ・食物アレルギーの児童の在籍はない ・アレルギーではなく医師の指示書に基づいてはいないが、保護者とのやりとりのもとでその子の摂食状況に応じたおやつを提供することがある(栄養補助食品、ゼリー等) ・対象児童はいないが必要があれば対応していく
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9			<ul style="list-style-type: none"> ・安全係を職員の中から決め、ヒヤリハットの統計、分析、共有を行っている ・事業所のミーティングにて特に留意するようなケースは議題にあげて共有強化を図っている ・月に一回、前月のヒヤリハット集を回覧している